

パソナと阪大が未内定者向けの講座を共同開設 (08/11 18:59)

人材派遣大手のパソナグループは、この春に内定を得られなかった新卒者らを対象にした、実践的な社会人育成のための講座を大阪大学と共同で開設すると発表しました。

10月から始まる講座は、大阪大学とパソナ本社をインターネット中継で結び、同時進行で行われます。対象となるのは、パソナが未就職学生向けに3月から開始した人材創造大学校の受講者や来年春に卒業予定の大学4年生で、初回は150人を募集します。若者の就労支援と世界のビジネスで通用する人材育成が目的です。参加費は無料で、社会人の聴講も可能です。講師には、国連事務次長を務めた明石康氏や元内閣官房副長官の石原信雄氏らを招きます。講義は、講師が一方的に知識を伝達するのではなく、ゼミ形式で行い、具体的な運営方法は学生自身が決めます。パソナの南部社長は「今までにない産学連携で大きな成果を期待している」としています。